平成二十九年十月の作品（一〇月一三日（金））（第五四回）

（文京シビックセンター5階D会議室）

溝蕎麦や水音絶ゆることなくて（一江）

白秋の生家の庭や柳散る（隆治）

のぼり来る名月海に光る道（奉男）

秋天に男声合唱響きけり（正佳）

裏木戸の開け放たれて野分かな（孝昭）

秋茄子に海の色ある朝あしたかな（前歩）

秋刀魚焼く煙の中の六千尾（貴美）

秋風が身に沁む中の誕生日（正雄）

ママ友のはずむおしやべり秋の晴（平六）

スカイツリー見えて紫苑の背伸びかな（清助）